

花乃井だより

学校
通信

令和2年11月28日(土)
第43号
大阪市立花乃井中学校

いよいよ師走!!

来週から12月に入ります。今週は2学期期末テスト週間でした。新型コロナの感染拡大により大阪市内でも臨時休校を余儀なくされる学校がある中で、無事に期末テストを終えることができました。生徒の皆さんは十分に準備して取り組むことができましたか。これから2学期の成績がついて、学期末懇談会になります。3年生の皆さんはいよいよ待ちに待った修学旅行があります。そしてその後は進路懇談で私立受験校を決定していきます。いずれにしても今年1年間を振り返って、まとめの12月にしていきたいと思います。



全校集会に代えて

今週は全校集会がありませんでしたので、紙上講話です。皆さんは「マグロは泳ぎ続けないと死んでしまう。」ということを知っていましたか？人間の肺呼吸と違って魚はエラ呼吸をしています。口とエラを動かすことによって水に溶けた酸素をエラから取り入れているわけです。長距離を泳ぎ回らない魚なら特に問題はないのかもしれませんが、マグロなどの回遊魚は外洋を延々と泳ぎ回らないといけません。しかも大型の魚なので大量の酸素が必要となります。だからマグロの場合、エラを動かすのではなく、口を開けて泳ぐことで自然とエラに水流が当たり、新鮮な酸素を取り込むような体の仕組みになっているのです。したがって、泳ぎを止めてしまうと酸素を取り込めなくなり、最悪の場合は窒息死してしまうのです。ただ、いつも同じ速度で泳いでいるかということではなく、ゆっくり泳いで休んでいるときもあります。それでも気の毒なことに、24時間泳ぎ続けなければならないのです。とても大変なことだと思います。実はマグロのように、世の中にはとても苦労して生きている動物がたくさんいるのです。

ここで、一つ皆さんに考えてほしいことがあります。それは「確かにマグロは大変かもしれない。しかし、体の構造上そうってしまった（進化の過程でそれが一番適応してきた結果）

ことですので、自らの意思で泳ぎ続けることを選んだわけではない。」ということです。私たちはマグロと違って、一つ一つの行動を、その時々で自分で選択し、決めたことを自分の意志でやり遂げ



ていかなければなりません。将来のために今は何をすべきなのか、自分のために、人のためにどんな行動をとるべきなのか……等々。様々なことに悩みながら決定し、しんどくても頑張っってやっていかなければならないのです。だからこそ、目的を達成したときの感激は素晴らしいものがあります。今こそ自分を律する(自律)ときです。今年も後1か月。体調管理をしっかりとって、年度当初に立てた目標(皆さん覚えていますか。というか立てましたか?)を達成していきましょう。

学校元気UP放課後学習会

12月の元気UP勉強会は次の通りです。



○ 12/2(水) 3(木) 9(水) 10(木) 16(水) 17(木)

○ 3:30～5:00まで 図書室もしくはその他の教室(学習する教材は各自持参のこと。)

地域防災訓練



職員室前の生徒会の目標黒板に「努力の木」が掲示されました。これからどんどん花が咲いていけばいいですね。



本日、花乃井中学校が避難所になる時を想定しての江戸堀地域の防災訓練が行われました。大阪市危機管理室や西区役所・西消防署・西警察署・大阪府西大阪治水事務所・西区社会福祉協議会の協力があって、消防車も出動しての充実したものとなりました。午前9時に震度7の直下型大地震が発生したとして住民の皆さんが本校の運動場へ避難してきました。近隣への安否知らせ訓練(江戸堀方式安否確認)もお互いに確認し合ってきました。運動場では家具の下敷きになった人を救助する訓練や心肺蘇生法の実践などが行われ、体育館では津波の恐ろしさを紙芝居と映像で解説していました。また、仮設トイレや非常用の公衆電話も特設されました。



《家具の下敷きになった人を救助》



《災害非常用の特設公衆電話》



《津波の恐ろしさについて解説》